

近年の気候変動に対応した
総合的水防対策の推進等を求める

要 望 書

平成20年11月

北 信 越 市 長 会

北信越市長会の要望について

日頃、都市行政の運営につきまして、格別のご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

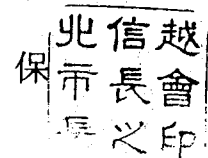
さて、このたび、北信越地域68市で構成する当会は、第153回北信越市長会総会で次のとおり2つの「決議」を満場一致で採択いたしました。

つきましては、地方の実情をご賢察の上、要望事項の実現に向け、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月13日

北信越市長会 会長

金沢市長 山 出



近年の気候変動に対応した総合的水防対策の 推進を求める特別決議

近年、地球温暖化やヒートアイランド現象が原因とも言われる1時間雨量50ミリをはるかに超える局地的大雨が頻繁に発生し、異常気象というよりは、もはや一般的な気象条件と認識すべき状況にある。

また、森林や中山間地の荒廃が進むとともに、都市部では地表の多くがアスファルト等で覆われ、雨水の浸透面積が減少するなど、流域の保水・遊水機能が低下している。

そのため、より短時間のうちに大量の雨水が流出し、河川や下水道へ一気に流れ込み、中小河川の氾濫や内水による浸水被害が毎年のように発生している。

事実、本年7月には、石川、富山両県を中心に激甚災害に指定されるほどの大雨被害が発生したほか、突然の河川の増水等で尊い命が奪われるなど、全国各地で甚大な被害が発生している。

治水事業は国土保全の根幹をなす事業であり、災害から市民の生命と財産を守り、安全で安心な生活環境を実現することは都市自治体にとって最大の責務である。

よって、政府におかれては、次の事項について特段の措置を講じるよう強く要望する。

- 1 都市自治体が実施する中小河川及び下水道の整備について、国庫補助制度を見直すなど財政支援措置の強化を図るとともに、十分な予算措置を講じること。
- 2 河川砂防技術基準の見直しを進めるとともに、新規施設整備におけるコスト削減や、既存施設の安全性の維持・向上及び徹底した活用などについて技術開発を進めること。
- 3 国管理及び都道府県管理河川は勿論のこと、中小河川の観測体制の強化に特段の措置を講じるとともに、降雨・流出予測技術の向上を図ること。
- 4 国民の防災意識の更なる向上を図るほか、洪水・内水ハザードマップの策定や防災情報伝達システムの整備に積極的な支援措置を講じること。

以上、決議する。

平成20年10月16日

第153回北信越市長会総会

真の地方分権改革の推進を求める決議

地方分権改革は、わが国が持続可能で豊かな地域社会を将来にわたり築き上げていくために不可欠な改革である。

政府の地方分権改革推進委員会において、第一次勧告がなされ、基礎的自治体である市町村の自治権の拡充が示されたが、今後、最終勧告に向けた議論が本格化していくことから、国と地方の税源配分 5 : 5 の実現、地方共有税の導入、国と地方の役割分担の明確化とこれに基づく国の関与の是正、条例制定権の拡大など、地方の自主性・自立性を高めるための改革を推進するとともに、地方の意見を新しい地方分権一括法に反映させていくため、法律による地方行財政会議の設置が是非とも必要である。

よって、地方分権改革推進本部をはじめとする政府におかれては、地方の意見を最大限尊重の上、真に地方分権の理念に沿った改革を引き続き着実に推進されるよう強く要望する。

以上、決議する。

平成 20 年 10 月 17 日

第 153 回北信越市長会総会

北 信 越 市 長 会

◎ 新潟県

新潟市、長岡市、上越市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市
加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市
五泉市、佐渡市、阿賀野市、魚沼市、南魚沼市、胎内市

◎ 富山県

富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市
砺波市、小矢部市、南砺市

◎ 石川県

金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市
白山市、かほく市、能美市

◎ 福井県

福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市
坂井市、越前市

◎ 長野県

長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市
小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市
塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市

(以上 68市)